

令和5年4月26日
こども若者局

児童福祉専門分科会「子ども権利擁護部会」の設置について

1 運営体制等

- ・こども家庭保健課子育て安心担当に事務局を置く。事務局職員は、子どもからの意見表明や関係機関から申立て等があった場合に調査を行う子ども権利擁護調査員(以下「調査員」という。)の役割を担う。
- ・部会委員については下記のとおり。仙台市社会福祉審議会運営要領第4条第4項に基づく、部会委員による互選による部会長の選任及び部会長の指名による副部会長の選任は、初回の部会に実施する。

■ 部会委員

子ども権利擁護部会委員（5名）	所属団体
高 橋 香 子	福島県立医科大学教授
内 藤 梓	仙台弁護士会
中 嶋 嘉津子	仙台市ほほえみの会
三 浦 正 幸	仙台市民生委員児童委員協議会
村 田 祐 二	仙台市医師会

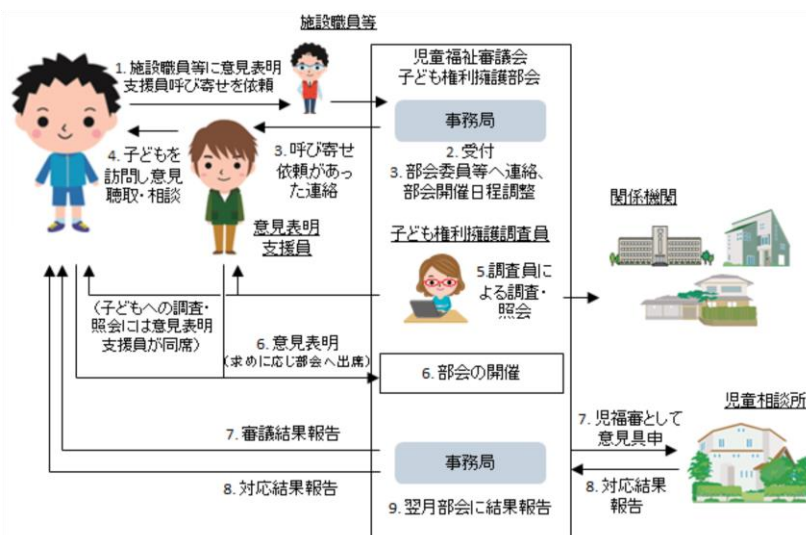
2 部会での調査審議対象

- ・社会的養護のもとにある子どもからの意見表明に関する事項
想定する意見表明の範囲： 児童相談所の措置等に対する不服、施設入所中における生活上の不満・問題、一時保護中の不満・問題
- ・関係機関からの申立て等に関する事項
申 立 て 等 の 範 囲： 特定の子どもに対する児童相談所の措置等に関する不服

3 審議案件への対応の流れ

審議案件が生じた場合は、調査員が事前調査・照会を行い、委員との協議を経て、部会を開催する。その後、部会での審議内容を子どもや関係機関へ報告し、施設、児童相談所等へは意見具申、子どもや関係機関へは施設等の対応結果を報告する。再び、部会において子どもや関係機関への報告とその反応について報告する。

【児童福祉審議会を活用した子どもの意見表明モデル】（子どもによる意見表明の場合）



出典：「子どもの権利擁護に新たに取り組む自治体にとって参考となるガイドラインに関する調査研究報告書」
(H31.3 三菱UFJリサーチ&コンサルティング)